陳情第１号

ラピダス社に関する諸課題の総合調整事務を行う部局を定めることについて

陳情者　　高橋　進
[redacted]

陳情内容　　別紙のとおり

上記陳情書の提出があったので付議する。

令和８年２月２４日提出

江別市議会議長　野　村　尚　志

2026年(令和8年)1月30日

江別市議会議長　野村　尚志　様

住　　所 [redacted]
氏　　名 高橋 進
電話番号 [redacted]

陳　情　書

ラピダス社に関する諸課題の総合調整事務を行う部局を定めることについて

現在、千歳川表流水からつくられた水道水を江別市内の約40%の市民、企業等の従業員が生活水として利用しています。

「千歳川の下流には、何万人にも及ぶ人間がその水を飲用または利用している。」と認知しながら、国策先行でラピダス社の排水計画が決定されたことに対して、江別市民のひとりとして強い憤りと大きな不安を感じています。

この間、江別市議会でも北海道知事に対し意見書を提出するなど市民の不安軽減に向けて努力をされていますが、依然として十分な情報開示もなされないまま、なし崩し的に本格稼働がなされようとしています。

江別市は過度の市民不安や風評被害を避けるためなのか、ホームページで事実関係等を検索しようとしても、なかなか知りたい情報にアクセスできず、かえって不安が増すばかりです。確かに、現状において排水計画の撤回がなされない中で、無責任に市民に安心を約束することはできないのは当然です。

しかしながら、PFASの水質汚染リスクに対する江別市独自のリスク軽減策(ハード・ソフト)を実行し、市民不安に応えることができれば、たとえ「市民の安心」には届かなくとも「市民の安全」には確実につながるものと思います。

ラピダス社の排水問題は、将来を含めた江別市民の命と安全が守られるかどうかの問題です。江別市独自の取組みとして、ハード面の整備とともにそれらを徹底的に情報公開するための下記ソフト面の実現を陳情します。

記

1. ラピダス社に関する諸課題の総合調整事務を総務部危機対策室等で行うこと。
2. 前項の部局において、ラピダス社排水の千歳川放流に対する市の考え方を市民に対し明確に表明すること。
3. 第1項の部局において、ラピダス社排水問題に不安を持つ市民に対し、これまでの経過、市のリスク軽減策等を一元的にホームページで情報公開すること。